

アフタースクールわんぱく

放課後等デイサービス

作成日 R6年7月16日

支援プログラム

法人理念	地域の中で、障害児、者とその家族の生活を豊かで充実したものとし、広く福祉の向上に寄与することを目的とする。		
支援方針	安心できる環境のもと、利用児童の心身の状況や特性に応じて、適切な個別、集団での活動を提供する。中高生主体ということから、思春期の特性を理解し支援を行う。卒業後を見据えた活動を取り入れる。保護者や関係機関との情報交換や連携をし、相談助言を行う。		
営業時間	平日 9:30~18:30 (うち放デイ活動時間:下校時間~17:15、9:30~15:30)	利用上のルール	特別支援学校在籍者(主に中高生) 自宅送迎有り
プログラム	支援内容(5領域)		
創作活動	季節の制作や自由な創作の中で、自己表現を行う。(運動・感覚、認知・行動、人間関係・社会性)		
作業体験	卒業後を見据え色々な作業を経験し、個々の特性に合った作業を行えるようにする。作業を行うために必要な手指の操作性を高める活動や、集中力、持続力を養う。(運動・感覚、認知・行動、人間関係・社会性)		
運動	室内外で楽しく体を動かすことで心身ともに発散し、体力の維持と増進を図る。スポーツを通じて他者とコミュニケーションをとり、社会性を身につける。(健康・生活、運動・感覚、認知・行動、人間関係・社会性)		
レクリエーション	他者と協力したり、競争したりしながら行えるルールのある遊びや体を動かす活動。(健康・生活、運動・感覚、認知・行動、人間関係・社会性)		
集会	司会をする、自分の意見を発表する、他者の意見を聞く機会を持ち、自分たちで選択して決定する、ルールを決める、などの経験をする。(認知・行動、人間関係・社会性)		
家族支援			
6か月ごとのモニタリングの他、利用児童の成長発達に関すること、ご家族やごきょうだいにすること、学校の様子についての心配事等をお聞きして相談助言を行う。 ペアレントトレーニング、保護者会を年1回開催する。			
移行支援			
卒業後の進路について情報提供や相談助言を行う。 利用児童の活動や発達の様子を移行先の施設に情報提供する。			
地域支援・地域連携			
ボランティアや介護等体験の学生と交流をもつ。 学校や相談支援事業所等との情報共有を行う。			
職員の質の向上			
ケース会議等により、一人一人への支援を検討し、適切な支援の方法を話し合う。各種研修会参加。事業所間での研修。子育てサポートの実施、補助を行うにあたっての検討会。			
主な行事等			
進級を祝う会 七夕 夏祭り ハロウィン クリスマス 年初めの会 節分 ひな祭り 卒業を祝う会 誕生会 避難訓練等			